

H o n d a N - B O X C u s t o m

～フォグライトからの出火!!～

奈良県広域消防組合管内において、本田技研工業株式会社（以下、「H o n d a」という。）が製造販売しているN - B O X C u s t o m（対象車種については下記に示す。）のフォグライトから出火した事例が4件発生しており、全国では2014年から2021年4月現在まで、左フォグライトから出火した火災が、※50件以上発生しています。

※出火した火災件数については国土交通省ホームページから算出したものです。

H o n d a ホームページにはサービスキャンペーンとして、「フロントバンパーにおいて、バンパー下部が縁石等に乗り上げ、後退した際にバンパーが引っ掛り外れると、左側前部霧灯（フォグライト）の電気配線が引っ張られて、フォグライトのバルブが固定部から緩み外れることがあります。そのため、適切な点検修理を行わないで、そのままの状態を使用を続けると、バルブの熱により周辺の樹脂部品が発熱して発煙し、最悪の場合、火災に至るおそれがあります。」と記載されています。また、ダイレクトメールのリーフレットでは、「フロントバンパーが損傷した際に、適切な点検修理が行われなままご使用を続けられたことにより、車両火災が発生した事例が確認されています。」と記載されており、フロントバンパーが外れるまたは損傷した際は適切な点検修理を行うようにと注意喚起がなされています。

奈良県広域消防組合管内において発生した火災事案では、フロントバンパー下部に接触痕があるものの、外観上バンパーが外れていない車両において、同様の原因による火災が発生しました。

縁石等に乗り上げ、後退した際にフロントバンパーが引っ掛かり、フロントバンパーが損傷または完全に外れなくても火災に至る可能性があります。

対象車種を所有しておられる方は、火災を防ぐためにもフロントバンパーを擦ってしまった際は、フォグライトのスイッチを切り、下記の図のとおり、フロントバンパーだけでな

